

## NEWS23 週刊報告      ダイジェスト版

対象番組：NEWS23(TBS)

対象期間：12/16~/

### ・12/16(月)

和泉補佐官の疑惑、日韓関係、米朝関係、香港問題、立憲民主党の初鹿衆院議員を書類送検などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、日韓関係については放送法の観点からも印象操作の観点からも問題が見られました。また、和泉補佐官の疑惑については検証者の所感を記しました。

### ・12/17(火)

大学入試改革問題、グレタ現象、桜を見る会、初鹿明博議員の疑惑、秋元議員の疑惑、鴨場接待、立憲民主党と国民民主党、【異論反論】#男女格差などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、大学入試改革問題については放送法の観点からやや不十分な点が見られました。なお、大学入試改革問題については検証者の所感も記しております。

### ・12/18(水)

桜を見る会、米朝関係、トランプ弾劾、徴用工問題、表現の不自由展、かんぽ生命保険などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、放送法上は特に問題は見られませんでした。なお、桜を見る会および表現の不自由については検証者の所感を記しております。

### ・12/19(木)

政治とカネ、「桜を見る会」をめぐる諸疑惑、防衛政策などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、放送法上は特に問題は見られませんでした。なお、防衛政策については検証者の所感を記しました。

### ・12/20(金)

対中東政策、政治とカネ、来年度予算、日韓関係などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、放送法上は特に問題は見られませんでした。なお、来年度予算については検証者の所感を記しました。

※検証の詳細は次ページ以降の「詳細版」に掲載されている各放送日の報告書をご覧ください

放送法遵守を求める視聴者の会

# NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年12月16日
出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、村瀬健介、石井大裕		
検証テーマ：和泉補佐官の疑惑、日韓関係、米朝関係、香港問題、立憲民主党の初鹿衆院議員を書類送検		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・元農水事務次官に懲役6年</li> <li>・和泉補佐官の疑惑</li> <li>・日韓関係</li> <li>・青梅1億円所持の男性が殺害された事件の続報</li> <li>・米朝関係</li> <li>・奈良放火殺人事件</li> <li>・香港問題</li> <li>・明浄学院横領で共犯の社長を逮捕</li> <li>・立憲民主党の初鹿衆院議員を書類送検</li> <li>・スポーツ報道</li> <li>・【異論反論】#赤ちゃんマーク</li> <li>・天気予報</li> </ul>		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・和泉補佐官の疑惑：結論→特に問題なし</li> </ul> <p>小川キャスターの「先週週刊誌が総理補佐官と厚労省の女性幹部の不倫出張なるものをスクープしましたが、この時この二人がノーベル賞を受賞した山中伸弥教授に対してiPS細胞に関する国の補助金の打ち切りを通告したのではという疑惑が浮上しています。」とのコメントに続いて以下に朱記したVTRが取り上げられていた。</p> <p>"ナレ「先月末、京都大学iPS細胞研究所の山中伸弥所長は困惑を隠せませんでした。」</p> <p>記者「内閣官房の担当者から2020年度に予算打ち切りの方針、これは事実でしょうか？」</p> <p>山中伸弥「私が財団設立をぜひ認めてくださいというお願いをした直後だったのでなんらかの誤解が会ったのではないかと。」</p> <p>ナレ「iPS細胞は人間の皮膚などの体細胞から作られ体の様々な組織や臓器の細胞となる夢の細胞です。2006年に山中所長が初めて作り出すことに成功し2012年にノーベル医学生理学賞を受賞しました。」</p> <p>安倍総理(2013年)「10年間で1100億円という予算を用意をしています。」</p> <p>山中伸弥(2013年)「一円も無駄にすることなく、。これからも更に力を合わせて邁進していきたいと思います。」</p> <p>"</p> <p>"ナレ「さらにiPS細胞研究所は作り出したiPS細胞をストックし再生医療への応用を希望する研究機関等に提供する事業を立ち上げました。山中所長らはこのストック事業を研究所から独立させ自ら収益を上げて運営できるよう公益財団法人化の構想を発表したのです。ところが、政府内で支援を打ち切ろうという案が浮上したのです。」</p>		

山中伸弥「財団は認めると、ただ、その段階から国費は出さないということになったのでかなりびっくりした。」  
ナレ「先週発売の週刊文春は国費は出さないと山中所長に伝えたのは、菅官房長官の懐刀と言われる和泉洋人総理補佐官と、厚労省幹部の大坪寛子大臣官房審議官の二人だと伝えています。更に記事ではこの二人が親密な関係にあり、山中所長に会う目的の京都出張の際などにハイヤーを使って送迎するなど公私混同を繰り返していると伝えました。」

菅官房長官「全て私費で支払って適切に対応しているということでありました。」

ナレ「野党側は和泉市と大坪氏の二人が山中所長に対し、国費を充当しないと伝えたのか、また和泉氏が公費で使用したハイヤーの記録や費用について明らかにするよう、質問状を内閣官房などに提出、今日正午までに回答するよう求めました。」

"ナレ「和泉氏といえば、」

和泉洋人「総理が自分の口から言えないから私が代わりに言う、こんな極端な話をすれば私の記憶に残っていません。そういった記憶は全く残っておりません、従っていっておりません。言っておりません。」

ナレ「加計学園をめぐる総理の意向を伝えたのでは、と野党側から追求された人物、一方の大坪審議官は。」

大坪寛子「WHOの方にも働きかけをしてみたい。」

ナレ「元内科医で主に医療問題を担当し国会でも度々答弁に立っています。」

ナレ「今年8月に二人は山中所長のもとを訪れ、支援を打ち切ると伝えたとされていますが、ある自民党幹部は。」  
自民党幹部「大坪さんは予算カッターなんだよね、再生医療のことをわかっていないのに、予算を切れと言うから、和泉補佐官に収集をつけるよう言った。」

ナレ「こうした動きに対し山中所長は今年12月日本記者クラブでこのように述べていました。」

山中伸弥「一部の官僚の方の考えで、法人になるのであれば、国のお金を出さないと意見が入ってきたのは事実、評価があった上でいきなり予算がゼロになるというのは相当理不尽だと言う思いがあったのも事実だ。」

ナレ「山中所長は透明性の高い議論なら納得できるが公開の場とは別のところで話が決まるようなことはやめてほしい、と不満を口にしたのです。予算は出さないと伝えたのかとの野党側の質問に対し内閣官房は食い違う回答をしました。」

渡辺その子(内閣官房健康医療戦略室次長)「内閣官房から20年度から支援をゼロにすると伝えた事実はありません。」

ナレ「山中所長は国会議員らに支援の必要性を訴えていきました。自民党や公明党の議員らも竹本科学技術担当大臣に支援を維持するよう提言書を手渡しました。」

竹本直一(科学技術担当相)「支援については引き続ききちんと当初の予算通りやるということになりました。」

ナレ「結果、支援は継続する見通しとなったのです、週刊誌報道に対する野党側の質問に対し、期限までに政府から回答はありませんでした。」

VTRを受けてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

"小川彩佳「山中教授の巻き返しもあってこの補助金は結局継続される方向となったようですけれどもノーベル賞で国民の関心も期待も高い事業ですし、安倍総理もそれをアピールしていた、もし今回の記事が本当だとするとその打ち切りがいつの間にか決まっていたと押して密室で完了が通告していたということですからこういうことって星さんあるんでしょうか。」

星浩「IPSに限らずですね、こういう専門的な分野の予算っていうのは、専門家が集まる審議会とかでオープンに議論していくのが原則なんです、それによって世の中に周知されてきますし、例えば自民党で議論があればそれがメディアによって通知されるっていうことなんで、その和泉補佐官が通告するというような内容のものではないですね、もしそうしていたとすれば越権行為なんです。」

小川彩佳「その和泉補佐官なんですけれども安倍総理の補佐官の中でもまあかなり存在感を見せて、加計学園を巡っても存在感が見えていましたよね。」

星浩「和泉さんはやり手の国交相のOBなんですけれども、ちょっとこの補佐官がこれだけ影響力を持つというのは問題なんです。補佐官は総理の影響力をもとんて動きますから権限権力はものすごい一杯あるんですよ。一方で国会に呼び出されることもないし、記者会見もないので、チェックすることはないんですよ、ですから権限は強いのにチェックされないという補佐官の影響力がどんどん強まって来るといふ弊害が現れていると思いますね。」

小川彩佳「この補佐官の影響力が強まっているというのも安倍政権下で顕著になって」

星浩「これは長期政権の中で顕著になってはきていますね。」

このトピックに当てられた時間は 507 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・日韓関係：結論→問題あり

小川キャスターの「続いてのニュースに参ります、戦後最悪とも言われてきた日韓関係ですが、その解決の糸口は見えたのでしょうか。」とのコメントを受け、山本キャスターが「輸出管理をめぐる局長級の政策対話は予定を3時間以上オーバーして終了しました。対話と意思疎通を継続することで合意したとしています。」と返した後に以下に朱記したVTRが取り上げられていた。

ナレ「ドアの向こうに賑わいはありませんでした。」

井上淳司(報告)「土曜午前11時過ぎの国際線ターミナルですが人が全くいません。」

ナレ「大分空港の国際線ターミナル、今年5月に13億円かけた改築を終えたばかりでした、ところが唯一の定期路線だった韓国からの便が8月以降来なくなったため、ターミナルは一時閉鎖に追い込まれました。観光客の6割が韓国からの観光客だったという大分県、こちらの宿は韓国人スタッフを常駐させ風呂を改築するなど受け入れ体制を整えてきましたが。」

韓アルム(ひすいの宿黎明支配人)「全体の8割から9割位が韓国のお客様。1割位に減ってしまってますね。」

ナレ「貿易でも韓国への輸出は乗用車や半導体装置などが大幅に減少、全体でも2割以上減りました。背景には長引く日韓の対立があります、日本政府は7月、韓国の主要産業である半導体などを直撃する輸出管理の強化に踏み切りました。更に8月には輸出の手続きを簡略化する優遇措置の対象国から韓国を除外。韓国政府はこれに対抗する形で日韓の軍事機密を共有する協定GSOMIAの破棄を通告、翌月にはWTO世界貿易機関に提訴する手続に入りました。しかし先月22日。」

韓国政府の会見「韓国政府はいつでも韓日軍事情報保護協定(GSOMIA)を破棄できるという前提で破棄通告を停止しています。」

ナレ「韓国政府はGSOMIAの延長を発表、WTOへの手続きも中断しました。日本政府も輸出管理の問題とGSOMIAは関係ないとしながらも、解決に向けた対話に応じるとしました。そして、今日。」

"小川慎（報告）「日韓の輸出管理をめぐる政策対話を行うため韓国側の代表が経済産業省に入ります。」

ナレ「会議が始まる 15 分前に経済産業省を訪れた韓国側の代表。日韓の輸出管理をめぐる局長級の政策対話は握手で始まり、輸出管理の強化を受け、異様な雰囲気で行われた 7 月の担当者レベル会合では折りたたみ机に事務椅子で向き合い壁際には無造作に置かれたパイプ椅子、しかし今回はマイクの置かれた円卓を囲み表情も和やかな雰囲気です、政策対話は 10 時間 2 条に及び予定を 3 時間オーバーして終わりました。」

梶山弘志（経産相）「両国の輸出管理制度を運用していく専門的観点から幅広く議論が行われ相互の理解を促進することが出来ました。」

ナレ「梶山経済産業大臣は政策対話について、相互の理解を促進することが出来たと述べ、一定の進展があったと成果を強調しました。」

李浩鉉（韓国産業資源省貿易政策官）「アップデートを含め今後も引き続き懸案の解決に資するべく、輸出管理政策対話と意思疎通を継続していくことに合意しました。」

ナレ「韓国側も日本側の発表とほぼ同じ内容で成果を強調、両国は次の政策対話を近い将来に韓国のソウルで開催する予定だと発表しました。韓国側は以前の状況に戻らなければならないとして、輸出管理の措置の撤廃を日本側に求めたことを明らかにしました。今後、日韓関係は改善に向かうのでしょうか、スペイン、マドリードでのアジア・ヨーロッパ外相会合に出席している茂木外務大臣は韓国の康京和外相と歓迎晩餐会に先立つ席上でおよそ 10 分間対話をしました、日韓の外務省によりますと両外相は輸出管理をめぐる局長級の対話を評価し康外相は日本による規制強化の早期撤廃を求めたということです。いっぽう、関係者によりますと、茂木大臣は関係悪化の根本的問題である徴用工問題をめぐる韓国側の責任で国際法違反の状態を是正するよう改めて求めたということです。両政府は 24 日にも首脳会談を開く方向で調整していて日韓関係改善の糸口が見つかるのか注目されています。」 "

VTR を受けてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返されました。

"小川彩佳「今日の局長級協議は予定を大幅に超えて 10 時間に渡りじっくり行われて具体的な中身は出てきませんでしたけれども対話継続で合意と、24 日の首相会談につながっていくんですかね。」

星浩「そうですね、まあ局長級協議が始まったのは一歩前進、なんです、日本側がそれから韓国の扱うをもとに戻すかどうかは実質的には韓国で今、徴用工の法律がどうなるかなんです、この法案は韓国の企業に提出を求めて日本の企業にも自主的な提出を求めるっていう法案なんでそれなりに韓国も譲歩している話なんですけれどもこれを日本側が評価するといろんな問題がまとまって徴用工の話も動き出してホワイト国の問題も動き出す、と 24 日の首脳会談に向けてですね包括的な合意ができるかっていう局面にはいつまでかかっているかと思えますけれども、韓国は来年 4 月に総選挙がありましてね来年いなると対立の季節になりますのでそれに先駆けて両首脳がそろそろ歩み寄っていくというタイミングになると思いますね。」

小川彩佳「クリスマスイブの贈り物になるのかどうか注目ですね。」 "

また、番組のクロージングでは以下に朱記したやり取りが繰り返されました。

"小川彩佳「今日は日韓の局長級協議がかなり長い時間ありましたね。」

星浩「韓国でね、今、徴用工問題の法案が準備されているんですけども、そこに 20 年前の日本の小淵総理のころの話が書かれているんですけども、ですからその時日韓も未来志向で行きましょと合意したんですけども、政治家の覚悟次第では日韓関係うまくいくんだということを、今の政治家にも噛み締めてもらいたいですね。」

小川彩佳「未来志向再びと。」

このトピックに当てられた時間は 475 秒だった。現在の日韓関係を「戦後最悪」と評していたが、そもそも佐藤栄作政権での日韓基本条約でもって日韓関係は「正常化」したわけであるし、吉田茂首相や李承晩大統領の時代は竹島を一方的に不法占拠する李承晩ラインが行われたりもしたわけであるから、そうした時代と比べても、それでも今が「戦後最悪の日韓関係」だと言うには根拠薄弱と言わざるを得ないし、明らかに事実と反しているわけであるから、放送法第四条一項三号「報道は事実をまげないですること」という点で問題であると言える。

・米朝関係：結論→特に問題はなし

小川キャスターの「次です 7 日間で 2 度の重大な実験、北朝鮮が非核化交渉の期限とする年末が迫る中ですがアメリカの交渉責任者がお隣の韓国を訪れまして、北朝鮮に交渉に応じるよう呼びかけました。」とのコメントを受け以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

ビーガン（米国北朝鮮担当特別代表）「大統領の指示の下私達のチームは目標を達成するために、北朝鮮の当局者と協力する準備をしています。」

ナレ「滞在予定は明日まで。北朝鮮から土壇場での接触はあるのでしょうか、昨日から韓国を訪れているアメリカのビーガン北朝鮮担当特別代表、目的は非核化交渉が行き詰まっている北朝鮮との対話です。」

ビーガン「まだ手遅れではないアメリカと北朝鮮はより良い道を選択することができる、クリスマスが平和の季節の到来を告げることを願っています。」

ナレ「4 月、北朝鮮は一方的に非核化の交渉期限を年末と決めました。今年もあと 2 週間あまりですが交渉はうまく言っていません、北朝鮮の要求は段階的な非核化、そして段階的な制裁の緩和ですが、アメリカがこれに応じていないためです。すると北朝鮮は今日 7 日非常に重大な実験を行ったと発表。これはアメリカまで届くと見られる ICBM 大陸間弾道ミサイルのエンジン燃焼実験の可能性が指摘されています。さらに先週末にも、」

北朝鮮国防科学院（音声）「12 月 13 日西海衛星発射場で再び重大な実験が行われた。」

ナレ「朝鮮人民軍の朴正天総参謀長はアメリカにこうプレッシャーを掛けました。」

朴正天「実験の成果はアメリカの核の脅威に対抗するための戦略兵器の開発に適用される、我々は巨大な力を備蓄した。」

ナレ「さらに、」

朴正天「我々を刺激する言動を控えてこそ年末を安らかに過ごすことができる。」

ナレ「とアメリカを牽制。一方で、対話の可能性を示すことも忘れませんでした。」

朴正天「我々是对話にも対決にも不慣れであってはいけない。」

ナレ「非核化交渉の期限とする年末が迫る中、揺さぶりをかける北朝鮮、一方、アメリカのビーガン特別代表はこう返しました。」

ビーガン「はっきりさせておきます、アメリカは期限を設けていません。」

ナレ「ビーガン特別代表は今日、韓国のムン・ジェイン大統領らと会談、交渉が再開されれば、北朝鮮の全ての関心事について議論できるとの立場を再確認した上でこう呼びかけました。」

ビーガン「北朝鮮の交渉当事者に直接伝えたい。私達の仕事を始める時が来た、成し遂げましょう、私たちはここにいる、あなた方は私達との接触方法を知っている。」



ナレ「明日まで韓国にいる予定のビーガン特別代表、10月依頼となる米朝の接触が実現するかどうか注目されています。」

このトピックに当てられた時間は235秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・香港問題：結論→特に問題なし

香港問題について以下に朱記したVTRが取り上げられていた。

「習近平（国家主席）「中央政府はあなたが香港の非常時に示した勇気と責任感を高く評価する。」

ナレ「中国の習近平国家主席は北京を訪れている香港政府のトップ、林鄭月娥行政長官と会談しました。習主席は林鄭長官のデモへの対応を高く評価した上で香港警察が厳正に法律を執行することを断固として支持するとして厳しい取り締まり姿勢を維持するよう求めました。」

このトピックに当てられた時間は38秒で、放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・立憲民主党の初鹿衆院議員を書類送検：結論→特に問題なし

ナレーションによって「立憲民主党の初鹿明博衆議院議員が2015年5月都内を移動中のタクシーの中で党の関係者の女性に無理やりキスをするなどわいせつな行為をした疑いで書類送検されました、警視庁によりまずと初鹿議員は女性と二人でタクシーに乗っていて調べに対し合意があったと容疑を否認しているようです。」とのことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は29秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

- ・日韓関係：結論→問題あり

小川キャスターがこのトピックの冒頭で「戦後最悪とも言われてきた日韓関係ですが、その解決の糸口は見えたのでしょうか。」と述べていたが、「戦後最悪」というのは誰が言っていることなのだろうか。

もしかしたら小川キャスターの生きてきた「戦後」の中では今の日韓関係が最悪のように感じられるのかもしれないが、戦後史を振り返ってみても、今よりも日韓関係が悪かった時期は現実に存在している。そうした中で根拠を示すことなく、またそのように発言している具体的な人物を挙げることもなく、安易に「戦後最悪ともいわれた日韓関係」などと評するのは、視聴者に対してもそうした事実とは異なる誤った印象を与えてしまう恐れがあるといえるだろう。

検証者所感

- ・和泉補佐官の疑惑

星キャスターは「専門家が集まる審議会とかでオープンに議論していくのが原則」とはいうものの、そもそも誰が審議会に呼ばれるに値する専門家なのか、という判断は非常にクローズドな場で行われているのではないだろうか、気になるところである。

## NEWS23 週刊報告 詳細版

また、小川キャスターの「山中教授の巻き返しもあってこの補助金は結局継続される方向となった」という言い回しも非常に印象的だった。山中教授の「巻き返し」というのは山中教授がやったから「巻き返し」と言われたが、動作主体が違えば「癒着」や「忖度」などと関連付けられてメディアに寄って語られかねない行為ではないだろうか。

ところで、このトピックは何が問題だったのだろうか。山中教授の予算を切ろうとしたのが問題だったのか、週刊誌の後追い報道的な下世話な話を問題としていたのか、今ひとつ焦点や問題の所在がわかりにくい報じ方だった。



# NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年12月17日
出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、村瀬健介、石井大裕		
検証テーマ：大学入試改革問題、グレタ現象、桜を見る会、初鹿明博議員の疑惑、秋元議員の疑惑、鴨場接待、立憲民主党と国民民主党、【異論反論】 #男女格差		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・池江璃花子選手が退院</li> <li>・聖火リレー</li> <li>・大学入試改革問題</li> <li>・自動ブレーキ搭載の段階的義務化</li> <li>・グレタ現象</li> <li>・北海道住宅火災の放火容疑で男を逮捕</li> <li>・桜を見る会</li> <li>・初鹿明博議員の疑惑</li> <li>・秋元議員の疑惑</li> <li>・鴨場接待</li> <li>・立憲民主党と国民民主党</li> <li>・マフィ選手に罰金刑</li> <li>・スポーツ報道</li> <li>・【異論反論】 #男女格差</li> <li>・天気予報</li> </ul>		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学入試改革問題： <ul style="list-style-type: none"> <li>小川キャスターの「さて、続いてのニュースですが、孤高性を翻弄するこちらの問題です。」とのコメントを受けて、山本キャスターが「大学入試改革の2つの柱とされてきた英語の民間試験の活用と国語と数学の記述式問題の導入、英語の民間試験については萩生田大臣のいわゆる身の丈発言をきっかけとして延期されることが決まりました。一方でもう一つの柱、記述式問題の導入についても今日、見送りが発表されたのです。」と応えた後に、以下に朱記したVTRが取り上げられていた。</li> <li>"ナレ「試験まで1年ちょっと、判断はギリギリのタイミングでした。」</li> <li>萩生田光一（文科相）「受験生の不安を払拭し安心して受験できる体制を早急に整えることは現時点において困難であり、記述式問題を実施せず導入見送りを判断いたしました。」</li> <li>ナレ「来年度から始まる大学入学共通テストで導入予定だった国語と数学の記述式問題、萩生田文科大臣は導入を見送り、白紙にすると表明したのです。」</li> <li>高校2年生「大人に振り回されてばかりで本当に高校生のことを考えてくれているのかなって不安になりました。」</li> </ul> </li> </ul>		

浪人生「やっぱりすごい大人に対して生意気ですけど、迷惑というか、はっきりしてくれというふうに思いますがね。」

ナレ「思考力や表現力などを観ることが狙いだった記述式、しかし問題となったのは50万人分の答案を公平に採点できるのかです。採点の業務はおよそ61億円で民間のベネッセコーポレーションの子会社が落札していましたが。」

"畑野君枝（共産党衆院議員）「アルバイトを採用される予定ですか。」

ベネッセコーポレーション担当者「アルバイトということも当然いらっしゃる。」

"ナレ「最大、1万人の採点担当者の中には学生アルバイトなども含まれることも判明。文科省は採点ミスをゼロにすること出来ないと判断。振り回された形の学生からはこんな疑問が。」

高校3年生「普通に考えたら、導入するべきではないってみんなわかっていると思う、なんで文科省の人はそれがわかっていないのかな、っていうのは。」

ナレ「ある文科省の幹部は混乱の背景をこう明かします、」

文科省幹部（音声）「2020年度には実施するという政治の意向があった。」

ナレ「スケジュールありきで進められたのではないかというのです、記述式問題の導入は2014年、中央教育審議会が提言しました。受け取ったのは当時の下村文科大臣です。その一ヶ月後、下村氏は2020年度からの実施を目指す行程表を示し、議論の場は有識者会議へと移ります。しかし、有識者会議の委員の一人は。」

南風原朝和（有識者会議元委員東大名誉教授）「強硬に押し通されたという感じがしますね。文科省の方々ももう大臣プランで決まったことなので実行するのが彼らの役割。」

ナレ「有識者会議で本格的な議論は行われず、記述式導入の流れが変わることはなかったと言います。」

南風原朝和「大きな会議を経てと言っても結局、委員は基本手ぶらで月一回くらい集まってその場で出される資料について多少意見を言う。意見によっては少し資料の内容が変わるが大きく変わることはない。」

"ナレ「今日の会見では歴代の文科大臣の責任についても質問が飛びました。」

萩生田文科相「与党全体の考えの中で行ってきたので、その時々々の大臣は、その時々々の大臣までの環境の中でベストを尽くしてきたと思います。現時点で私が責任者ですから私の責任でしっかり立て直しをしていきたい。」

ナレ「英語民間試験、そして記述式問題と相次ぎ頓挫した大学入試改革のほんの柱。きっかけは英語民間試験の導入について萩生田大臣が発したこの言葉でした。」

萩生田「自分の身の丈に合わせて頑張ってもらえれば。」

ナレ「その後大臣は説明不足と謝罪し、撤回しましたが。」

街の声A「まあ大臣の発言は失言だったとは思いますが、正直それが今の現実ではあるのかなと。」

街の声B「お金があるご家庭のほうが子供に対する教育費とかそういうのに使える示唆がでてくるかなと思います。」

ナレ「浮き彫りになってくるのは教育格差の問題でした。八王子つばめ塾、ここでは子どもたちに無料で学習支援を行っています。」

"小宮位之（認定NPO法人八王子つばめ塾理事長）「都立購入師では都道府県の位置、模擬テストでもでたと思うけど、絶対出ます。」

ナレ「この日は高校入試を控えた中学3年制を対象とした勉強合宿が行われていました、ここに通う生徒の多く

はひとり親世帯であったり兄弟が沢山いたりして教育費の負担が大きい家庭の子供達です、中には塾までの交通費が出せない家庭もあり、希望する生徒には交通費も支給されています。」

小宮位之「東京で7割以上の子が塾に通っていますので、塾に通っているかないかで多分そこで受験のスタートラインが変わってきてしまうという現状もある中でやはり経済格差というものがそこにどうしても教育格差に繋がりがやすいという面が当然あると。」

ナレ「これは世帯収入と子供の学力の関係を示したグラフです、調査対象となった国語と数学ではどちらも世帯収入が高い家庭の子供ほど正答率が高く親の経済的な事情が事情が子供の学寮に影響を及ぼす傾向が見られました。」

"ナレ「この無料塾に通う高校生からはこんな声も、」

つばめ塾に通う生徒（高3）A「お金もかかるし、浪人は絶対にしないでと言われました、そういう面でもやっぱり自分が確実にうけれる場所を受けておいたほうがいいのかな、と。」

つばめ塾に通う生徒（高3）B「大学がすごい遠いので、結構交通費もかかっている。」

ナレ「つばめ塾ではこうした生徒たちの不安を少しでも払拭しようと返済不要の奨学金を支給、また、希望する子どもには授業の際に米やパスタなど食料の配布も行っています。」

小宮位之「身の丈にあった、本当に出来ない人はできないでいいじゃないか、できる人はやればいいじゃないか、で上が上に行くのはいいと思うんですけども下が底が抜けてしまうんですね、子どもたちをどう育てるのか、その軸をぶらさずに応援していく、支援していくことを真剣に考えてもらいたい。」

スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

"小川彩佳「こうした現場の声を聞くとますます身の丈発言というのはあってはならないものだったんだなと痛感しますけれども、その萩生田大臣の身の丈発言によって皮肉にもこうした教育格差ですとか試験そのものの問題点というのがはっきりと浮き彫りになりましたね。」

星浩「この経済の格差がある中で教育の機会均等というのが文科省の最大の目的であるはずなんです、その中で身の丈で試験をすればいいんじゃないかというのはもうそもそもの大きな間違いなんです。ただこの発言でいろんな問題が吹き出して結局全部撤回ということになったのですが、むしろ遅すぎたという気がしますね。」

小川彩佳「その問題だらけの入試改革案がなぜこのようにまかり通ってきたのか、今後検証のために議事録が公表されるようですけどもその根底にあったものは一体何だったのでしょうか。」

星浩「文科大臣の経験者を色々聞いてみると実は安倍政権の体質にも関わってくるような気がしますね、この政権は安倍総理肝煎り、官邸肝煎りの制作になってくると自民党の議論とか、文科省の議論とかなかなかこう活発にならないでそのまま官邸の意向がヒューッと通ってしまうという体質がありましてね、今回のその教育改革ノン問題は典型だと思うんですね、やはり十分な議論、役所の中、自民党の中、公明党の中できちんとやらないと再びこのような誤りをね、犯すような気がしますね。」

このトピックに当てられた時間は584秒だった。

小川キャスターはスタジオで「こうした現場の声を聞くとますます身の丈発言というのはあってはならないものだったんだなと痛感しますけれども、その萩生田大臣の身の丈発言によって皮肉にもこうした教育格差ですとか試験そのものの問題点というのがはっきりと浮き彫りになりましたね。」と述べていたように、確かに入試改革と教育格差が関連付けられて取り上げられることは多い。他方で、教育格差の問題が学力や大学入試だけに矮

小化されている印象も否めない。例えば小川キャスターは小学校から大学まで一貫して青山学院に通っていたが、そうした私立大学の初等部・中等部と教育格差・地域格差の問題であるとか、あるいは多くの生徒が東大や早稲田慶応に進学するような名門進学校と教育格差・地域格差という問題は全く取り上げられておらず、むしろ教育格差の問題が一発本番の大学入試当日のみに矮小化されているような印象すら受ける。そうした点を見るに、放送法第四条一項四号の「意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること」については不十分な報じ方をしていると云わざるを得ないだろう。

・グレタ現象：結論→特に問題なし

小川キャスターの「こちら 16 歳の環境活動家グレタ・トゥンベリさんです。国連でのスピーチが世界的な反響を呼びまして、有力紙の今年の人に選ばれるなど、その発信力も増すばかりですけれども日本のあの人も平橋を受けたようです。」というコメントを受けて以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

ナレ「スーパーボランティアこと尾畑春夫さん、7月から大分県別府琴氏の海岸線でゴミ拾いをしています。」  
尾畑春夫さん「同じこの地球の中で生かされている動物同士でね、今こういうことをやったほうがいいかなと。」  
ナレ「今回救いの手を差し伸べたのは人々ではなく海の生き物たち、あの若き環境活動家にも関心を寄せているようです。」

グレタ・トゥンベリ「よくそんなことが言えますね。」

ナレ「スウェーデンのグレタ・トゥンベリさんです。」

グレタ・トゥンベリ「私達の歴史を通して偉大なる変化は全て人々から起きました。待つ必要はありません、私たちは今すぐに変化を起こせるのです。」

ナレ「アメリカの雑誌、タイムの今年の人にも選ばれるなどその発信力は強まる一方、COP25 閉会後は SNS に何気ない投降をただけでこんな騒動に発展しました。」 "

"グレタ・トゥンベリ (Twitter)「大混雑の電車でドイツを移動中、やっと家に帰るところです。」

ナレ「この投稿のあと、グレタさんが席に座れなかったことについてネット上などで鉄道会社を批判する動きが出始めたのです。すると鉄道会社はグレタさんは一等車でかなりの区間席に座っていた、と反論、グレタさんは途中から席が見つかったとした上でこう投稿しました。」

グレタ・トゥンベリ (Twitter)「メディアは驚くことに COP25 が失敗に終わったという事実よりも 10 代の少女の電車の旅により興味を持っているみたい。」

ナレ「グレタさんが鉄道を利用したのは温室効果ガスの排出量が少ない移動方法を選んだため、オランダでは廃止された夜行列車が復活する見込みですが、グレタさんの活動もこうした動きを後押ししたと見られています。

今や、16 歳の少女のゲンドウに対し国のトップも黙ってられません。」 "

"トランプ大統領「グレタは自分の怒りをコントロールする問題に取り組むべきで友達と古き良き映画を見に行けばいい。」

ボルソナロ (ブラジル大統領)「あんなガキにメディアがスペースを割くなんて驚きだ。」

ナレ「複雑な思いは日本でも同じようです。」

日本人男性 60 代 A「現状がわかっていないと感じる。」

日本人男性 50 代 B「環境のために経済活動が冷え込んだら色んなものが、色んなものを失ったちゃうと思うん

ですね。」

日本人男性 70 代 C 「たいへんいいことですね、やはり、若い人がそういうですね、活動に積極的になるということは、大人もやっぱり刺激されず。」

日本人男性 50 代 D 「あの、世間知らなくていいんじゃないですか、知ってるやつだと何もできなくなっちゃうから。はい。」

ナレ 「一挙手一投足が注目される中グレタさんは今後の活動について。」

グレタ (Twitter) 「COP25 は物別れに終わったようだ、何が起ころうとも私たちは決して諦めない。まだ始まったばかりだから」 "

VTR を受けてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返されられた。

"小川彩佳「グレタさんを巡っては異様なまでに賛否が渦を巻いているような気がするんですけどもこの渦が大きくなればなるほど、グレタさんの言葉がどんどん広がっていきますし、アンチもこう追い風になってるような気がするんですよ。なかなか前に進まなかったのに、グレタさんのみたいな、劇薬と言ったらおかしいですけどもこういった存在が必要だったのかなと、。」

山本恵里伽 「考えるきっかけにはなりますよね、まあ 16 歳という若さだからこそ将来への願望というか希望を伝えていっていいんじゃないかと思ってしまうんですけども、いろんな批判はありますね。」

星浩 「まあおじさんたちにするといろいろ議論ばかりしてたけれど何も進まないじゃないかという指摘はなかなか痛いところつかれていると思うんですね、ただその無機にならないでね、なかなかいいこと言ってるじゃないかという度量が必要だともいますし、こうした訴えを政策にしていこうというのはこれ大人の責任だと思いますね。」 "

このトピックに当てられた時間は 319 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・桜を見る会：結論→特に問題なし

桜を見る会について以下に朱記したように VTR で取り上げられていた。

ナレ 「桜を見る会の問題をめぐり内閣府は野党が求めた調査を正式に拒否しました、野党側の説明によりますと非公開で開かれた衆議院内閣委員会の理事会で内閣府は招待者名簿の電子データの破棄に関する記録の調査提出に応じませんでした、またマルチ商法で破綻したジャパンライフ元会長の招待状に記された番号が総理枠なのかについても担当者のヒアリングは行わないと回答したとのことです。」

今井雅人 (「立国社」会派) 「文書を破棄したところは徹底的に答えない。それから総理に関することに関しては徹底的に答えないし調べない。」

ナレ 「野党側は回答に反発し引き続き閉会中審査などを求めていく方針です。」 "

このトピックに当てられた時間は 54 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・初鹿明博議員の疑惑：結論→特に問題なし

初鹿明博議員の強制わいせつの疑いについて以下に朱記したように VTR で取り上げられていた。

"初鹿議員 「大変心からお詫びを申し上げます。」

ナレ 「強制わいせつの疑いで書類送検された立憲民主党の初鹿明博衆議院議員が陳謝しました。警視庁によりま

すと初鹿議員は4年前、タクシーの中で党の関係者の女性に無理やりキスをしたなどの疑いが持たれています、初鹿議員は書類送検された事実を認める一方で詳細については答えませんでした。」

このトピックに当てられた時間は36秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・秋元議員の疑惑：結論→特に問題なし

ナレーションによって「自民党の秋元司衆議院議員の元秘書らが外為法違反の疑いで自宅捜索を受けた事件、その後の関係者への取材で東京地検特捜部が北海道町からIR事業に関する資料提出を受け、関係者から任意で聞いていたことがわかりました。北海道の留寿都村への事業参入に意欲を見せていた中国企業の関係者が海外から数百万円の現金を違法に日本に持ち込んだ可能性があるということです。」とのことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は33秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・鴨場接待：結論→特に問題なし

ナレーションによって「皇室の冬の恒例行事となっている鴨場接待が催され秋篠宮家の長女の眞子さまと次女の佳子さまが案内役を務めました。お二人は今回出席した各国の駐日大使らとともに野生のかもを手持ちの網を使って傷をつけずに捕獲し、その後、鴨を一羽一羽優しく放たれました。」とのことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は32秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・立憲民主党と国民民主党：結論→特に問題なし

ナレーションによって「立憲民主党の枝野代表と国民民主党の環代表が国会内で会談、党の合流に向け協議入することで合意しました。しかし国民民主側には反対意見がある他、対等な立場での協議などを条件に交渉入りが承認されたため、今後の協議には紆余曲折も予想されます。」とのことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は26秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・【異論反論】#男女格差：

山本キャスターの「スイスの国際機関が政治や教育など4つの分野を総合した格好の男女格差を調査したところ153カ国のうち日本は前年の111位から10位順位を下げ過去最低の121位という結果に。男女格差についてあなたは、異論反論。」とのコメントに続いて以下に朱記したようなVTRが取り上げられていた。

産休中女性(30代)A「妊娠して今は産休をとっております。戻った時にどう思われるかなとか言われるかなとか。」

元製造業女性(30代)B「格差、うーんお給料とかですかね、同じような仕事をして男性の方がちょっと良かったりとか。」

会社員女性(30代)C「会社の権限的には男性の意見のほうが通りやすかったり男性中心の職場だなというような印象はあるかな。」

製造業男性(20代)D「国会とかででられている面々の方とかはのはやっぱり女性の方が少ないのかなと思ったりしますね。」

製造業男性(50代)E「完全な平等というのはもしかしたらないのかもしれませんが、機会の平等とかそういう



のは確保したほうがいいのかなどというふうに感じます。」

金融関係男性（20代）F「海外の国々はそういった男女の差別をなくそうとなっているので、その感覚を合わせていく。」

ナレ「以上、オブジェクションでした。」

このトピックに当てられた時間は 88 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特に問題なし

検証者所感

・大学入試改革問題

スタジオで星キャスターが「文科大臣の経験者を色々聞いてみると実は安倍政権の体質にも関わってくるような気がしますね、この政権は安倍総理肝煎り、官邸肝煎りの政策になってくると自民党の議論とか、文科省の議論とかなかなかこう活発にならないでそのまま官邸の意向がヒューッと通ってしまうという体質がありましてね、今回のその教育改革の問題は典型だと思うんですね、やはり十分な議論、役所の中、自民党の中、公明党の中できちんとやらないと再びこのような誤りをね、犯すような気がしますね。」と述べていたが、そもそもこの問題は「安倍総理肝煎り」と言えるようなものだったのかということ自体が甚だ疑問である。

萩生田文科大臣といえば、安倍総理の側近としても知られている議員であるが、今回の入試改革が頓挫しているのは萩生田議員の「身の丈」発言に端を発していると言える。また、そもそもの「身の丈」発言そのものも文脈上そこで「身の丈」という言葉を用いる必要性は低いものであったことから、やや穿った見方をすれば萩生田文科大臣が意図的に「身の丈」というバズワードを織り込むことで、今回の入試改革を潰したという見方だって出来なくはない。仮に安倍総理肝煎りの政策であるならば安倍総理の側近を任じる萩生田氏であれば失言で政策が頓挫しないように言葉の選び方も慎重の上にも慎重を重ねたのではないだろうか。

しかし、この大学入試のセンター試験というのは地方の国公立大学を志望する学生にとっては、入試の配点から見ても主戦場と言えるものであるのは確かであるが、旧帝国大学や一橋大学、神戸大学のような大学になってくるとセンター試験より大学独自の二次試験のほうが圧倒的には配点比率が重くなるし、私立大学の受験も主戦場は独自試験であるのが現状であるが、それにも関わらずセンター試験の問題がここまで盛り上がる、というのは正直なところ、見ていて意外という印象を受ける。



# NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年12月18日
出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、村瀬健介、石井大裕		
検証テーマ：桜を見る会、米朝関係、トランプ弾劾、徴用工問題、表現の不自由展、かんぽ生命保険		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・桜を見る会</li> <li>・伊藤詩織さんの訴えで元 TBS 記者に賠償命令</li> <li>・米朝関係</li> <li>・トランプ弾劾</li> <li>・ケンローチ監督が語る貧困と格差</li> <li>・徴用工問題</li> <li>・東海道新幹線殺傷事件で無期懲役</li> <li>・表現の不自由展</li> <li>・首都高湾岸線のトンネル火災</li> <li>・スポーツ報道</li> <li>・かんぽ生命保険</li> <li>・天気予報</li> </ul>		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・桜を見る会：結論→特に問題なし</li> </ul> <p>小川キャスターの「まずはじめに、お伝えするのは桜を見る会をめぐる問題です。マルチ商法の資金集めで安倍総理からの招待状をアピールしていたジャパンライフに対して被害を訴える人々が全国から東京地裁に集まりました。」とのコメントを受けて、以下に朱記したような VTR が取り上げられていた。</p> <p>"ジャパンライフの被害を訴える人 A「700万騙し取られた、本当に自殺まで考えました。全財産を取られたからね、ジャパンライフにね。」</p> <p>ジャパンライフの被害を訴える人 B「私は1億3000万、家族で全部で、3人だからね、安倍総理がね、政治不信になりますよね。」"</p> <p>"ナレ「今日、東京地裁に集まったのはジャパンライフによる被害を訴える人々、弁護団はこんな声明を発表しました。」</p> <p>ジャパンライフ被害弁護団の声明「ジャパンライフは安倍総理から山口隆祥会長が桜を見る会に招待されたことを宣伝勧誘に利用していた。それにより多くの被害者がジャパンライフを信頼できる会社と誤解した。」</p> <p>ナレ「閉会後も国会内では桜を見る会の追及が続いています。」"</p> <p>山井和則（「立国社」会派衆院議員）「皆さん方がこの受付票を招待が安倍総理枠ではないかと言われていましてけれど出したことによって2000億円の被害、7000人の高齢者の被害、その何割かがこの招待状を見て騙されたとおっしゃっているわけです。」</p> <p>"ナレ「ジャパンライフの山口元会長を誰がなぜ、招待したのか。鍵となるのは受付票に記された区分番号60で</p>		

放送法遵守を求める視聴者の会

す。内閣府の文書には 60 番から 63 番は総理、長官等の推薦者と明記されています。山口氏の 60 番は安倍総理の推薦枠なのかどうか、野党は当時の担当者に聞けばわかるはずだとして確認を求めています。ところが昨日内閣府は。」

酒田元洋（内閣府内閣官房総務課長）「当時の担当者ということに付きましてもなかなかその現時点で聞き取りを行うというのはなかなかその有意な結果が聞き取りができるかどうかかわからないということですね、行うことは、現時点でその聞き取りを行うことは考えておりません、と。」

ナレ「担当者への聞き取りはしない、と、調査を拒否する姿勢。」

"田村智子（共産党参院議員）「行政官試飲会の質問の中でこの 60 の意味は何なのか、と、国会の場で聞いているわけですよ、それに対して調査を拒否をされるというのはちょっと、それはもう、国会の存在を否定するに等しいですよ。」

野党議員「調べるなって言われているんじゃないですか。」

野党議員「うなずいた？いま」

野党議員「そういうことだよ。」

酒田元洋「うなずいていませんので、そこだけ、はっきりさせてください。」

"ナレ「調査をしないのは誰の指示なのかを巡って、今日、菅官房長官は。」

記者「これ以上調べないとのことでしたが、この判断は桜を見る会の責任者である長官が下したということによるのでしょうか。」

菅官房長官「政府として繰り返し説明した内容を改めて申し上げたんだろうというふうに思っております。」

記者「長官がこの衆議院内閣委員会の理事会でこれ以上調べない、この判断を下したのかをうかがっているのでイエスカノーかで。」

菅官房長官「いや、そんなことではなくて、今まで説明してきたことと変わることはないんじゃないでしょうか。」

記者「最終的な判断は責任者である長官が下しているということによるのでしょうか。」

菅官房長官「事務方の皆さんが「今まで説明したとおりに説明したい」ということでありますので、それについて私が発言をしなかったということです。」

ナレ「今日、ジャパンライフの被害弁護団が出した声明にはこんな指摘も。」

ジャパンライフ被害弁護団の声明「安倍総理は長年悪徳商法を展開してきた山口隆祥を功労功績のあったものとして招待した経緯について被害者について誠意を持って説明すべきである。」

ナレ「桜を見る会の招待基準について、安倍総理はこのように答弁していました。」

安倍総理「桜を見る会についてはですね、各界において功績功労のあった方々をですね、各省庁からの意見等をふまえ、幅広く招待をしております。」

ナレ「ジャパンライフの元会長について政府はどんな功労功績を確認したのでしょうか。」

中井亨（内閣官房参事官）「内閣・内閣官房でですね推薦を受けた時に頂いた情報をもとに必要な確認を行っているところでございます。」

山井和則「ということはこれ 2015 年、ジャパンライフの山口会長はチェックをして功労功績のある人物としてどういう根拠で選んだんですか、大問題になっている方ですよ。」

中井亨「記録に残っておりませんので、お答えをしかねます。」

黒岩宇洋（立憲民主党衆院議員）「功勞功績のなかった人も招待状をもらっている、」

中井亨「そこはまさに幅広くご招待を」

黒岩宇洋「だから含まれていないということもありうるんですね。功勞功績がない人も逆に含まれていることもあるんですね。」

中井亨「功勞功績というものの定義がなかなか難しいと思われそうです。」

黒岩宇洋「定義ときたか。」 "

このトピックに当てられた時間は 344 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・米朝関係：結論→特に問題なし

小川キャスターの「ニュースを続けます、クリスマスシーズンを前に米朝関係が緊迫しています。」とのコメントに山本キャスターが「クリスマスプレゼントに何を選ぶかはアメリカ次第だ、こう挑発した北朝鮮、これに対してアメリカのトランプ大統領が焦りを感じている、という見方が出ているんです。プレゼントの中身が長距離弾道ミサイルなのでは、そんな警戒感からです。」と返した後に以下に朱記したような VTR がとりあげられていた。

"ナレ「昨夜、羽田空港に到着したアメリカのビーガン北朝鮮担当特別代表。」

記者「北朝鮮からはなにかメッセージはありましたか。」

ナレ「笑顔を見せたものの質問に答えることはありませんでした。その前日、韓国を訪れていたビーガン氏は北朝鮮に対し異例の呼びかけを行っていました。」

ビーガン（北朝鮮担当特別代表）「北朝鮮の交渉担当者に直接伝えたい。私達の仕事を始める時が来た、成し遂げましょう。私たちはここにいる。あなた方は私たちとの接触方法を知っている。」

ナレ「今日、外務省を訪れた際には、」

記者「北朝鮮からなにか反応はありましたか。何か反応は？」

ビーガン「・・・・・・」

ナレ「北朝鮮との対話を求めるアメリカとそれを無視する北朝鮮という構図、一体何が起きているのでしょうか。一昨年 11 月以来 ICBM 大陸間弾道ミサイルの発射実験を控えてきた北朝鮮、しかし今月に入ると。」 "

"朝鮮中央通信「12 月 7 日午後、西海衛星発射場で非常に重要な実験が行われた。」

ナレ「7 日 13 日と相次ぎ、重大な実験を行ったと発表したのです。アメリカの北朝鮮分析サイトは、実験場の草木に萌えた形跡があることなどからミサイルのエンジン燃焼実験が行われた可能性が高いと分析。更に別の専門家は実験時間が 7 分と通常より長かった点に注目しています。」

ジェフリー・ルイス博士（ミドルベリー国際大学院）「通常ミサイルのエンジンの燃焼時間は 1,2 分ですが、今回は 7 分燃えました。宇宙空間に到達したあとで噴射する二段目以降のエンジンの実験だった可能性があります。つまり、かなりの長距離ミサイルです。」

ナレ「アメリカに到達する ICBM 大陸間弾道ミサイルに関わる実験だった可能性を指摘しました。さらに、今月 3 日北朝鮮の外務省は。」

北朝鮮外務省「クリスマスプレゼントに何を選ぶかはアメリカの決断次第だ。」

ナレ「北朝鮮はアメリカとの非核化交渉の期限を一方的に年末と設定。アメリカが段階的に経済制裁を緩和することを求め挑発を繰り返しているのです。」

ジェフリー・ルイス「北朝鮮はデッドラインを本気で明確に示しています、そのデッドラインを過ぎたら我々を驚かせるようなことが起きると思います。」 "

"ナレ「アメリカ太平洋空軍のブラウン司令官は 17 日、北朝鮮のいうプレゼントは長距離弾道ミサイルの発射である可能性があるとの認識を示しました。こうした中で東アジアを歴訪しているビーガン氏。」

ビーガン「私たちはここにいます。あなた方は接触方法を知っている。」

ナレ「北朝鮮への異例の呼びかけの意味を専門家はこう解説します。」

小谷哲男（明星大学准教授）「逆に言えば、それくらい外交を動かしたいという強い願いあるいは焦りがアメリカ側にあるということでもあります。特に北朝鮮がもし ICBM の発射実験を再び行ってしまえば、これまで 2 年近くに渡って続けてきた米朝の非核化のプロセスというものが崩壊してしまうわけですね、なんとしてもそれは避けたいというのがアメリカ側の思惑であると考えられます。」 "

"ナレ「特にトランプ大統領自身が避けたいのは。」

トランプ大統領（2月）「今はミサイル発射はない、ロケット実験もない。核実験もない。」

ナレ「こうした有権者へのアピールができなくなることです。トランプ大統領は北朝鮮に譲歩するのでは、アメリカではそんな懸念が膨らんでいると言います。」

小谷哲男「トランプ政権としてはもちろん、アメリカの利益というものを考えているわけですがトランプ大統領はどうしても自分の個人的な利益というものを優先するそういう傾向が見られます。トランプ大統領が仮に自分の大統領選に関する利益というものをより重視した場合中国やロシアが行っているような制裁の緩和に進んでしまう、相違懸念というのはワシントンの一部でも高まっています。」 "

ナレ「折しも昨日中国政府は、ロシアとともに北朝鮮への制裁の一部解除をもとめる決議案を国連安保理に提出したと明らかにしました。一方、アメリカはビーガン氏が明日、日本を離れたあと中国を訪れる追加日程を発表。北朝鮮からの連絡にすぐに対応するためとの指摘も出ています。」

このトピックに当てられた時間は 404 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・トランプ弾劾：結論→特に問題なし

トランプ弾劾について中継とスタジオの間で以下に朱記したようなやり取りが繰り返された。

"小川彩佳「そのアメリカではですね、今まさに議会下院でトランプ大統領の弾劾訴追に向けた決議案を審議する本会議が開かれているんですが、その議事堂の中に岩田記者がいます。岩田さん。」

岩田夏弥（ワシントン支局長：ワシントン議事堂内）「はい、こちらはですねアメリカ連邦議会の中のスタチュアリーホールと呼ばれる場所です、普段ですねアメリカのテレビでもここから記者が中継をする映像を見ることがは殆どないんですけども、今日はより多くのメディアが取材できるようにということでこちらのホールが中継ポイントとして開放されていまして、多くのカメラが並んでいます、下院本会議は先程開会し、トランプ大統領を権力の乱用と議会の妨害の条項で弾劾訴追する決議案の審議が行われます。下院では野党民主党が多数を占めていて決議案は日本時間の明日可決されトランプ宇治橋上三人目の弾劾裁判いかけられる大統領になる見通しです、また、議事堂の外では現在、トランプ氏の弾劾に賛成する人たちによる周回が始まっています中

には来年早くトランプ氏がホワイトハウスから去るようにと歌っている人もいます。ただ、世論調査ではトランプ氏の弾劾に賛成する人と反対する人がまっぴたつに割れているのがアメリカ社会の現状です。訴追が決まればトランプ氏が更に激しく反発するのは確実で、トランプ氏を支持する人と支持しない人の溝は一層深まっていくことになりそうです。"

"小川彩佳「そのトランプ大統領激しく反発してしまして、朝になって今回弾劾についてツイートを行っているんですね、そのうちの一つがこちら。こちら、要約ですけど『民主党に私が弾劾されようとしているなど信じられるか、何も悪いことはしていないのに』と変わらず強気な口調で訴えているんですね。」

星浩「まあ弾劾訴追は民主党がああ、下院では多数を持っていますので可決されるんですけどもトランプさんは支持率 40% ありましてね、非常に強気なままですよ。民主党は下院の審議の中では現職外交官にトランプ批判をさせるとかですね、それなりにやったんですが、今ひとつ決定打にかけているという状況ですよ。」

小川彩佳「ひとまずこの弾劾訴追は可決される勢いと、このあと今度は上院に行くわけですよ。」

星浩「はい、上院は今、ちょっと共和党が多いんですけども共和党の何人かがおそらく賛成に回るんでしょうけれども 3分の2には届かずということで、罷免されることはないということで、まあアメリカの政治はこれから 11月の大統領選挙に向けてトランプさんは 40%の岩盤を固めて、民主党はリベラルの 40%を固めてその間の 20%をどっちが取るかという争奪戦が続いていくということだと思いますね。」"

このトピックに当てられた時間は 182 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・徴用工問題：結論→特に問題なし

山本キャスターによって「日韓の徴用工問題で、韓国の国会議長は財団を設立して元徴用工らに慰謝料を支払うとする法案を国会に提出しました。韓国の文喜相国会議長が中心となってまとめた法案では日韓の企業や個人からの寄付で記憶・和解・未来財団という名称の財団を設立、元徴用工らに慰謝料を設立します。また、慰謝料を受け取れば日本企業の資産差し押さえや現金化の請求権を放棄したこととみなすことなどが盛り込まれました。韓国の世論調査では 7割近くが法案に賛成していて、文議長らは今月 24 日の日韓首脳会談を前に関係改善の呼び水にしたい考えです。」とのことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は 54 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・表現の不自由展：結論→特に問題なし

ナレーションによって「国際芸術祭あいちトリエンナーレで企画展が一時中止された問題で第三者委員会が最終報告をまとめました。総括として展示を否定する理由はないとする一方、運営体制や展示方法に問題があったと指摘しました。」とのことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は 21 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・かんぽ生命保険

小川キャスターの「かんぽ生命保険の不正販売をめぐり違反疑いのある契約が 1 万 2000 件以上に登ることがわかりました。」とのコメントを受けて、以下に朱記したような VTR が取り上げられていた。

"伊藤鉄男（特別調査委員会委員長）「営業目標必達主義を背景として厳しい営業推進管理が行われていた。」

ナレ「日本郵政グループの特別調査委員会は 2018 年度までの 5 年間で法令や社内規定違反の疑いのある契約が 12836 件あったと発表しました。これをうけ日本郵政グループは会見を行い、経営陣の責任について質問が相次ぎました。」

記者「然るべき時に辞任もされる、辞任を考えておられるということなんですか。」

長門正貢（日本郵政社長）「あの、経営責任にはいろいろあります、あの経営責任の果たし方は色々あります。整理してですね、然るべきタイミングで申し上げたい。」

ナレ「会見では販売額を重視した営業目標を見直すなど、改善策も示されましたが、終了時にはこんなやり取りも。」

記者「皆の前で、皆さんの出处進退を明らかにしてほしいんですよ、確かにね、おっしゃるように。」

長門正貢「以上です、ありがとうございます。これ以上でもない、これ以下でもないと一回申し上げました。以上です。」

このトピックに当てられた時間は 89 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨  
特に問題なし

#### 検証者所感

##### ・桜を見る会

こうも連日、桜を見る会を追及する野党ばかりを取り上げていると、「野党は他にすることがないのか」という印象を視聴者に与えてしまうのではないだろうか。

##### ・表現の不自由展

桜を見る会は連日、「総理粹」や公金の使い方をめぐっての野党の追及が取り上げられているが、あいちトリエンナーレの表現の不自由展についても税金が使われているもので、大村知事が一部の表現者を税金で優遇しているという話に過ぎないと思うが、こちらは税金の使いみちとしては問題ないのだろうか。



テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年12月19日
出演者：星浩、小川彩佳、山本絵里伽、石井大裕		
検証テーマ：政治とカネ、「桜を見る会」をめぐる諸疑惑、防衛政策		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全日空機が離陸直後に緊急着陸</li> <li>・政治とカネ 秋元司衆院議員の事務所を捜索</li> <li>・トランプ大統領、弾劾訴追 史上3人目</li> <li>・「桜を見る会」をめぐる諸疑惑 ジャパンライフ被害弁護団長、”首相の招待状”説明を</li> <li>・定年70歳 “人生100年時代”いくつまで働く？</li> <li>・給食に残る台風15号の影響 千葉県館山市</li> <li>・防衛政策 来年度予算 防衛費過去最多 「新しい戦争」にどう挑む？</li> <li>・青森で震度5弱 怪我人はなし</li> <li>・プーチン露大統領 日露関係に言及</li> <li>・札幌開催の五輪マラソン 後半コースも決定</li> <li>・性暴力被害者の団体が刑法改正にあたり森法相に要望書を提出</li> <li>・スポーツ報道</li> <li>・天気予報</li> </ul>		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政治とカネ→結論：問題なし 小川キャスターの「東京地検特捜部が自民党の秋元司衆院議員の事務所を家宅捜索しました。カジノ事業での日本進出に意欲を見せていた中国企業との関係が指摘されています」とのコメントを導入に、以下に朱記したVTRが取り上げられていた。 小沢秀人氏（TBS記者）「秋元司議員の事務所から東京地検特捜部が段ボールを持って出てきました。」 ナレーター「東京地検特捜部が捜索をしているのは、東京都江東区にある秋元司議員の地元事務所、そして千代田区にある議員会館の事務所です。容疑は外為法違反。特捜部は日本でカジノを含むIR事業への参入に意欲を見せていた中国企業の関係者が海外から無届で日本に持ち込んだ疑いがあるとして捜査を進めています。その関係先として秋元議員の元秘書の自宅などの家宅捜索を行い、秋元議員本人からも事情を聞いています。秋元議員はIRを推進する超党派の議員連盟で活動を続けてきました。2016年には衆院内閣委員長としてカジノ解禁などを目指すいわゆる「IR法案」を採決」 秋元司氏（衆院内閣委員長※当時、自民党）「急ぐ急がないより長年にわたって議論されてきて、急いだというよりはそろそろこの辺で1つの結論を出していかなければとの思い」 ナレーター「去年10月まで国土交通省と内閣府の副大臣を務め、IRを担当していました。先月、秋元議員は」</li> </ul>		



記者「疑惑についてはどう…」

秋元氏「疑惑ないですよ。ない一切」

ナレーター「一方で秋元議員と中国企業の接点も浮かび上がってきました」

延広耕次郎氏（TBS 記者）「こちら疑惑が浮上している中国企業の本社です。とても豪華な受付となっています」

ナレーター「この企業は中国深圳市に本社を置き、インターネットのゲームやスポーツくじなどの事業を手掛けています。中国企業の総務担当者は？」

記者「秋元議員を知っているか？」

中国企業の総務担当者「知らない」

記者「あなたの会社は日本のカジノに興味があるか？」

中国企業の総務担当者「これは私はもっと知らない」

ナレーター「この企業は 2017 年 8 月に東京都内に日本法人を設立、翌 8 月には沖縄県那覇市でシンポジウムを開催し、カジノを含む統合型リゾート施設進出の検討を表明しています。秋元議員はここで講演も行っていました。更にこの中国企業は北海道留寿都村でカジノを含む統合型リゾート計画を明らかにし、企業幹部らが村役場に去年 2 月頃など 2 度訪れていたといえます。その後秋元議員本人も」

場谷常八氏（北海道留寿都村長）「(秋元議員が) 来てましたね。1 回記憶しています。プライベートでスキーに来たという時に」

ナレーター「中国企業が日本法人を設立した後、沖縄に赴くとそこに秋元議員の姿が、その後北海道に赴くとそこにも秋元議員の姿が、どのようなかわりを持っていたのでしょうか？秋元議員は今日 Twitter を更新しました。「私は不正なことにはまったく関与しておりません。何があろうとも主張して参ります」

特捜部は押収した資料の分析を進め、秋元議員と中国企業のかかわりについて慎重に調べる考えですが、元東京地検特捜部の若狭氏はこう指摘します」

若狭勝氏（元東京地検特捜部、弁護士）「今後、特捜部とすれば秋元議員にかかる贈収賄事件を視野に捜査をしているものと思われ、今回の外為法違反という比較的軽い罪はそのためのステップ、入り口、切り口という位置づけだと思います」

このトピックに当てられた時間は 306 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・「桜を見る会」をめぐる諸疑惑→結論：問題なし

小川キャスターの「さて変わりましたは、「桜を見る会」の問題に参ります。経営破綻したジャパンライフの被害弁護団の団長が国会を訪れまして安倍総理の名前で出された招待状で被害が拡大したとして政府に説明を求めました」とのコメントを導入に、以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

石戸谷豊氏（全国ジャパンライフ被害弁護団団長）「せめて被害者に説明してくださいよという話を言ってるだけなので、これはぜひお願いしたいと思います」

中井亨氏（内閣官房）「過去の記録が残っていませんのでわかりかねるということです」

石戸谷氏「いや然としますわね。結果的に見て、山口氏を招待したということについては、どう思っていますかね。せめてその点だけは聞かせてください。」

中井氏「過去の記録が残ってないのでわかりかねるところでございます」

石戸谷氏「全然回答になっていない。そういうのを「火に油を注ぐ」というのですよ」

ナレーター「怒りを顕わにするのは、ジャパンライフの被害弁護団長です。昨日の債権者集会で弁護団は「山口元会長を功労・功績があった者として招待した経緯について、被害者に対して誠意をもって説明すべきだ」との声明を出しています」

石戸谷氏「社会一般的に見ると収賄と同じですよ。検査先に天下ってパンフレットに名前出して広告塔の役割を果たしているわけですから」

ナレーター「弁護団長は、ジャパンライフに消費者庁の課長補佐が天下り顧問料などを受け取って顧問料などを受け取っていたことを「収賄と同じ」とし批判しました。債権者集会ではこの5年間で少なくとも毎年100万円から200万円の政治献金がされたことが破産管財人によって明らかになりました。受け取った政治家の数は数十人に上るといいます。また、元官僚や元朝日新聞の政治部長ら5人に顧問料約1億4000万円が支払われたことも明らかになっています。このような金は被害者が生活費を削って出したものとして政治献金や顧問料の返還を求める方針です。内閣府は招待者名簿の保存期間は1年未満として既に廃棄したとしていますが、今日のヒアリングではこんなやりとりも」

田村智子氏（参院議員、共産党）「5年保存している省庁、2015年当時の名簿がある省庁はまだあります。招待区分及び整理番号は名簿に全部記載があるはずですので、それぐらいのことはやられては如何ですか？」

酒田元洋氏（内閣府大臣官房総務課長）「保存期間が各省庁それぞれ区々でありますから、いま残っている省庁だけ調べるとするのはなかなか…どうかなと思います」

ナレーター「調査はしないと政府の姿勢は変わりませんでした」

VTRを受け、スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

小川キャスター「相変わらず文書を捨てたから調べようがないの一点張りも多いですが、国会を通してからは調べてもわかりそうなものも調べないだったりわからないと、そうした姿勢が目立つように感じますが」

星キャスター「そうですね、ジャパンライフの元会長山口氏を招待した経緯はいまだにはっきりしないのですよね。内閣府は調査しないとまで言っていて国会の場が終わったらゼロ回答でいいんだという居直りですよ。安倍総理は招待状を出した経緯について付き合いはないんだといいますが、付き合いがない人に対して何故招待状が出されたのかということについては安倍総理が調べて発表する責任があると思いますけども、未だに果たされていないということだと思いますね」

このトピックに当てられた時間は244秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・防衛政策→結論：問題なし

小川キャスターの「明日、来年度の予算案が閣議決定されるのですが、こちら防衛費は5兆3000億円と過去最高になる見込みなのですね。今回の特徴は宇宙や電磁波、サイバーといった新しい領域における予算が重視されたということなのです。防衛省・自衛隊が強化を目指す新しい領域における戦いとはどういうものなのでしょうか？」とのコメントを導入に、以下に朱記したVTRが取り上げられていた。

ナレーター「都内で行われた陸上自衛隊とアメリカ軍の共同演習。今回重視されたのはサイバーや電磁波といった新領域での連携です。演習に参加したアメリカ陸軍の将官はこの新領域の重要性について、こんな見方を示

しました」

ヴォレスキー氏（米陸軍中将）「入隊して 30 年以上経つが新領域の重要性は未だかつてないほど高まっていると感じています。」

ナレーター「イラク戦争を戦った指揮官がかつてない複雑さと述べた新領域の戦い、一体どのようなものなのでしょう。例に挙げられるのはロシア軍の戦いです。それは 2014 年ウクライナ侵攻の際に活きました。ロシア軍は通信妨害でウクライナ軍の通信網を遮断、その上で携帯電話で偽メールを送って部隊を誘導、集まったウクライナ軍を火力によって制圧したといいます。サイバーや電磁波攻撃を駆使しウクライナ軍をかく乱、圧倒したロシアの戦いは世界に衝撃を与えました。このような火力などの兵器による戦いと電磁波による通信妨害やサイバー攻撃に加えインターネット上での世論操作など市民生活を巻き込んだハイブリッド戦という戦い方がこれからの新しい戦争の形になると陸上自衛隊の幹部は指摘します」

廣次郎氏（陸将補）「(ロシアの戦いは) 我々のなかでは戦いの概念すら変えてしまうくらい大きな戦い方だった。サイバーの戦いは 24 時間の戦いです。今までは例えば戦車が来るだとか火砲が来るだとかまだちょっと先のことかなというイメージがありますが、サイバーの人たちというのは今こうしてる瞬間にも戦っている。オンラインで繋がっていますから 24 時間 365 日常に備えていかなければならない。そういった戦い方になってきているということですね」

ナレーター「また軍の組織は情報通信ネットワークへの依存度が高くなっており、サイバー攻撃などで通信ネットワークが遮断されるとそもそも戦えなくなるという面もあります。」

廣氏「ネットワークの切断合戦になるのが新しい戦い方、最初の段階でサイバーの戦いに負けてしまうと、戦いたくても戦えない、戦う前に負けてしまっている、そういう風な戦い方になります。」

ナレーター「この新しい戦争は自衛隊はどう備えようとしているのでしょうか。横須賀市にある陸上自衛隊通信学校、陸海空の自衛官と一緒に 3 か月間システム防護の基礎を学びます」

河口誠氏（一等陸佐）「サイバー技術は日々進化していますので、最新技術をいかに取り入れて教育するかが非常に大きな課題と考えております」

ナレーター「現在、自衛隊のサイバー部隊は約 580 人。防衛省は来年度予算に約 240 億円を計上し、660 人に拡充、将来的には千数百人規模まで拡大したいとのことです。しかし世界は違います、先ほど登場したロシア軍のサイバー部隊は 1000 人以上、中国は 2 万人、北朝鮮は 4000 人もいわれています。今後の課題はどんなところにあるのでしょうか。」

廣氏「国家全体で取り組むべき課題だと認識しています。他省庁とどのように連携していくのか、企業との連携、あとは人材育成ですね。これからどうやっていくのか、その辺のところは今後の大きな課題になると考えています」

このトピックに当てられた時間は 311 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨  
特になし

検証者所感

■防衛政策

来年度予算案の防衛費に関わる部分について、防衛省当局側の思惑に寄り添う形で無批判に伝えているだけとの印象を受けた。

従来の兵器に加えて、サイバー攻撃や電磁波攻撃、そして電子空間上での情報操作などが複合的に用いられる新たな戦争の形に対応するために、サイバーや電磁波といった新たな領域に予算を計上する必要があるとの防衛省側の説明は検証者も理解できるものではあるが、

近年の防衛予算の膨張を招いている一因として頻繁に指摘される日米安保の相互防衛援助協定に基づく有償軍事援助の枠組みでの米国製防衛装備品の「言い値」での調達や、当初予算の規模を見かけ上縮小させるために行われている兵器購入費等の年度内の補正予算への付け回しなどの防衛費をめぐる諸懸念に対しても言及を求めたい。

# NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年12月20日
出演者：星浩、小川彩佳、山本絵里伽、石井大裕		
検証テーマ：対中東政策、政治とカネ、来年度予算、日韓関係		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高1男子 多摩川に飛び込み死亡</li> <li>・かんぽ問題 内部の検討事項を日本郵政グループに漏洩したとして総務次官を異例の更迭</li> <li>・対中東政策 日イラン首脳会談開催、中東海域への自衛隊派遣に対して一定の理解を得る</li> <li>・政治とカネ 秋元衆院議員、外為法違反での捜査中に中国のIR企業から現金を受け取っていたとの疑惑が浮上</li> <li>・長男殺害で懲役6年の元農水次官が保釈</li> <li>・来年度予算 過去最大の102兆円超、防衛費と社会保障費も過去最大</li> <li>・スポーツ報道</li> <li>・マカオ中国返還20年「一国二制度」統治は</li> <li>・日韓関係 韓国向け輸出管理を一部見直し、半導体材料の「バラスト」の輸出手続きを簡略化</li> <li>・子供の視力低下が深刻化 文科省調査</li> <li>・天気予報</li> </ul>		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対中東政策→結論：問題なし 小川キャスターの「アメリカとイランの間で難しいかじ取りを迫られています。」、および山本キャスターの「核合意を巡ってアメリカとの対立が深まっているイランのロウハニ大統領が来日。日本はアメリカの要請もあって自衛隊を中東海域に派遣する予定ですがイランからの理解は得られたのでしょうか」との各コメントを導入に、以下に朱記したVTRが取り上げられていた。 ナレーター「今日来日したイランのロウハニ大統領、イランの大統領が来日するのは19年ぶりです。歓迎式典の後、安倍総理はロウハニ大統領と首脳会談に臨みました。」 安倍晋三氏（首相）「日本としては中東地域の緊張緩和、地域の情勢の安定化のためにできる限りの役割を果たしていく考えでございます」 ロウハニ氏（イラン大統領）「アメリカの一方的な違法な（核合意の）離脱を強く非難します。」 ナレーター「現在イランとアメリカは核合意を巡って対立しています。その両者と良好な関係を維持している日本は両者の間を取り持ち、中東地域の緊張緩和を目指す立場です。そしてもう一つ、今回安倍総理がロウハニ大統領に理解を求めるのが海上自衛隊の中東派遣についてです。」 菅義偉氏（官房長官）「本日行われる日・イラン首脳会談においても、日本の取り組みについて丁寧に説明す</li> </ul>		

ることに致しています」

ナレーター「海上自衛隊が派遣されるのはオマーン湾とアラビア海の北部の一部など、ここに護衛艦一隻を派遣するほか、ジブチで海賊対処の任務にあっている P3C 哨戒機を活用する予定です。そもそもなぜ自衛隊を派遣するのでしょうか？今年 6 月、中東のホルムズ海峡で日本などのタンカーが攻撃を受けました。アメリカは攻撃の責任はイランにあるとしました。一方イラン側は関与を否定しています。この事件をきっかけにトランプ大統領はこう不満をぶち上げました」

トランプ氏（米大統領）「中国は輸入する石油の 65%、日本は 25%がホルムズ海峡を通る。我々はなぜ裕福な中国や日本のために警備活動をしてあげているのか」

ナレーター「そしてアメリカは、ホルムズ海峡を複数の国で警備する有志連合構想を立ち上げ、日本にも参加を呼びかけました。有志連合に参加しなければアメリカの顔を潰してしまう、逆に参加すればイランを刺激してしまう、日本は難しい判断を迫られていたのです。」

安倍氏「米国と同盟関係があり、そして同時にイランと長年良好な関係を維持してきた日本ならではの舵取りが今求められています」

ナレーター「そして出した結論が」

菅氏「米国が提案している海洋安全保障イニシアチブには参加せずに日本独自の取り組みを適切に行っていくと」

ナレーター「日本は有志連合には参加せず日本に関わる船舶の安全確保に必要な情報を集める調査・研究の名目で単独で自衛隊を派遣することになりました。場所も緊張が高まるホルムズ海峡などを避けました。しかし野党は」

小池晃氏（共産党書記局長）「情報が色々と入ってくれば、それは米軍と一体化するということになるでしょう。結局、米軍と一体となった軍事行動に日本も参加を、あるいは参加までいかなくてもそこに接近しているという形になることは間違いないし」

ナレーター「一方、元海上自衛隊で司令官を務めた香田氏は派遣の意義をこう強調します」

香田洋二氏（元自衛艦隊司令官）「武力を使う、あるいは武器を使うということではなくて、情報収集ですけれども自衛隊の部隊を派遣したということで中東地域の安定に対して我が国がしっかりと寄与していくということで、我が国の立場を明確にするとともに非常に大きな安心感を世界に与えた」と

ナレーター「また政府が調査・研究目的で自衛隊を派遣することについて、与党からも批判の声が挙がっていました。国会の承認が要らず防衛大臣の判断だけで決めることができるからです。」

北側一雄氏（公明党副代表）「調査研究ということを根拠にして、安易に自衛隊が派遣されることはあってはならないと思います」

ナレーター「批判を受け政府は活動期間を 1 年に区切り、延長する場合は再度閣議決定を行う、活動終了時に結果を国会に報告することにしました。今日行われた日本とイランの首脳会談、政府の説明では安倍総理が中東派遣について説明するとロウハニ大統領は「日本の外交努力を評価し、航行の安全確保に貢献する日本の意図を理解しており透明性を持って説明していることを評価する」政府は来週 27 日にも中東派遣について閣議決定する方針です」

このトピックに当てられた時間は 394 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。



・政治とカネ→結論：問題なし

山本キャスターの「IR 事業を巡り、自民党の秋元司議員の事務所が家宅搜索を受けた事件で、新たな疑惑が浮上しています」とのコメントを導入に、以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

ナレーター「この事件は、日本でのカジノを含む IR 事業への参入を計画していた中国企業の関係者が海外から不正に現金を持ち込んだ疑いがもたれているもので、東京地検特捜部は既に自民党の秋元司議員の事務所などを家宅搜索しています。その後の関係者への調べで運び込まれた現金が秋元議員側に渡った疑いが新たにわかりました。こうした中今日台風被害に遭った被災地に復旧状況の視察に訪れていた二階幹事長は秋元議員に関わる事件について訊かれると」

二階俊博氏（自民党幹事長）「今そんなことの説明に来たんじゃないじゃないか。場所を考えて言え。後で答えてあげるよ、そんなことをここで説明に来たんじゃないよ、東京地検がすった転んだって俺のほうがそんなこと知るかい」

ナレーター「一方、秋元議員は先ほど JNN の取材に応じ、「疑われることは一切していない。中国企業の幹部とは会ったことはあるが何か頼まれたり資金を提供してもらったことは無いと改めて事件への関与を否定しました。」

このトピックに当てられた時間は 95 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・来年度予算→結論：問題なし

スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

小川キャスター「さて、私たちの税金を何をどのように使うか、今日来年度の予算案を政府が閣議決定しました。これ大事な話ですからスタジオでゆっくり見ていきましょう。山本さん」

山本キャスター「予算の総額が 102 兆 6580 億円と、8 年連続で過去最大、そして 2 年連続で 100 兆円の大台を更新しました。予算の総額を最も押し上げているのは、こちらの社会保障費です。こちらも過去最大の 35 兆 8600 億円ほど、歳出の 3 分の 1 を占めているわけです。」

小川キャスター「その社会保障の内訳がこのようになっていますのですけども、まず高齢化による自然増が 4110 億円ということになってまして、そして安倍政権が押し進めます全世代型の社会保障、その目玉政策となります幼児教育保育の無償化にこうして計上されるわけです。そして過去最大なのは社会保障費だけではなく防衛費もそうでした、何に使われるかと言いますと、ステルス戦闘機 F-35 でしたりイーブイアショアをアメリカから購入するため、こういうことに使われるということです。星さん、社会保障費・防衛費が過去最大となりましたが」

星キャスター「まず社会保障費のほうですけども、これからどんどん高齢化が進んで社会保障費もうなぎ上りになるわけですが、それに備えるために本当は制度改正をしなくちゃならないわけですね、所得が多い人には医療費の負担を増やしてもらったり。しかし実際には制度改正が追い付いていないのだと思いますね」

小川キャスター「心配になるのはどうやって賄うかということですが、歳入を見ていきましょうか」

山本キャスター「改めて見ていきたいと思いますが、消費税増税による増収や経済成長も加味した 63 兆 5100



億円程度です。この中に増税分であります 2 兆 4000 億円が含まれています。税収で足りない部分をどうするかといいますと国債の新規発行で賄うことになっていまして 32 兆 5500 億円程度が計上されています」

小川キャスター「今年は増税したのに歳入の 3 分の 1 程度を借金で賄うという形は変わらず、更に専門家からはこんな指摘も「税収は甘い経済成長率の見通しに基づいている。来年、オリンピック以降の景気は厳しく、景気対策で国債発行が増える可能性もある」借金がさらに膨らむ可能性がある」と

星キャスター「そうなんです、今年は消費増税がありましたから 2 兆 4000 億円増えたわけですね。もともとその 2 兆 4000 億円のかんりの部分を借金の返済に充てるということだったのですが、実際には増税分を現役世代の社会保障に回してしまったものですから、借金の返済に充てる額が 1000 億円増えただけなんです。ですから国の借金の額は 1000 兆円を超える状態になっていて、どうやって減らしていくか目途が立っていない状態になっていますから、将来へのツケは更に増えているという状況ですよ」

小川キャスター「道筋すら示されないようでは将来不安が払しょくできないですよ」

このトピックに当てられた時間は 221 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・日韓関係→結論：問題なし

以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

ナレーター「韓国への輸出管理を強化した 3 品目のうち、半導体などの材料のレジストについて経済産業省は輸出の手続きを一部見直したと発表しました。今回の見直しにより、特定の条件を満たした企業に限り 3 年分の許可を一括で得ることができるようになったとのこと。この見直しについて経産省は十分なデータが積みあがったからとした上で輸出管理の緩和ではないと強調しています」

このトピックに当てられた時間は 45 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨  
特になし

検証者所感

■来年度予算

本日閣議決定された来年度の政府予算案について、小川キャスターは「これ大事な話ですからスタジオでゆっくり見ていきましょう」と述べていたが、実際には歳入・歳出それぞれの総額、そしてその内訳を軽く説明するに留まり、「ゆっくり見ていく」どころか駆け足で報じているようにしか思えない有様である。